

況. 第86次日本法医学会総会. 2002, 4, 岡山.

- 2) 畑 由紀子, 小湊慶彦, 滝澤久夫: ABO式血液型抗原の発現における血液型合成酵素の膜貫通ドメインの重要性. 第86次日本法医学会総会. 2002, 4, 岡山.
- 3) 島田一郎, Hohoff C., Rand S., Brinkmann B.: クルド人集団に於けるSTR変異率 (ACTBP 2及びD21S11) について. 第86次日本法医学会総会. 2002, 4, 岡山.
- 4) Abdin L., Shimada I., Brinkmann B., Hohoff C.: Analysis of 15 STRs reveal significant differences between the Arabian populations from Morocco and Syria. Fifth International Symposium on Advances in Legal Medicine, 2002, 10, Takayama.
- 5) 島田一郎, 小湊慶彦, 畑 由紀子, 滝澤久夫: 黄燐爆発事故の一例. 第24回日本法医学会中部地方会. 2002, 10, 福井.

内 科 学 (1)

教 助	授 教	小 杉 丸 浦 多 松 山 佐 菓 子 岩 林	林 山 山 風 喜 井 崎 藤 井 田	英 宗 雅 博 祥 勝 達 龍	正 二 治 春 文 子 也 啓 彦 実 二
	講 師 講 師 講 師 助 手 助 手 助 手 助手(研究休職)				

◆ 著 書

- 1) 小林 正: 2型糖尿病. 「今日の治療指針2002年版」山口 徹 他編, 445-447, 医学書院, 東京, 2002.
- 2) 小林 正: インスリン受容体異常症. 「今日の診断指針」亀山正邦 他編, 1114-1116, 医学書院, 東京, 2002.
- 3) 小林 正, 平谷和幸: 糖尿病の治療目標. 「糖尿病ナビゲーター」門脇 孝 他編, 240-241, メディカルレビュー社, 東京, 2002.
- 4) 小林 正, 川原順子: インスリン抵抗性の指標. 「糖尿病ナビゲーター」門脇 孝 他編, 138-139, メディカルレビュー社, 東京, 2002.
- 5) 浦風雅春, 小林 正: 先天性糖質代謝異常症. 「新臨床内科学」高久史麿 他編, 1021-1026, 医学書院, 東京, 2002.

◆ 原 著

- 1) 山口昌樹, 川島裕司, 山崎勝也, 小林 正, 伊藤武仁: 低侵襲化を目指した自動吸引可能な採血針. 生体医工学, 40:80-85, 2002.
- 2) Ishihara H., Sasaoka T., Ishiki M., Wada T., Hori H., Kagawa S., and Kobayashi M.: Membrane localization of SHIP2 via Shc association is required for the negative regulation of insulin signaling in Rat1 fibroblasts overexpressing insulin receptors. Mol Endocrinol, 16:2371-2381, 2002.
- 3) Fujita T., Maruyama M., Araya J., Sassa K., Kawagishi Y., Hayashi R., Matsui S., Kashii T., Yamashita N., Sugiyama E., and Kobayashi M.: Hydrogen peroxide induces upregulation of Fas in human airway epithelial cells via the activation of PARP-p53 pathway.

- Am J Respir Cell Mol Biol, 27:542-552, 2002.
- 4) Nobata Y., Urakaze M., Temaru R., Sato A., Nakamura N., Yamazaki K., Kishida M., Takata M., and Kobayashi M.: α -Tocopherol inhibits IL-8 synthesis induced by thrombin and high glucose in endothelial cells. *Horm Metabol Res*, 34:49-54, 2002.
 - 5) Araya J., Maruyama M., Inoue A., Fujita T., Kawahara J., Sassa K., Hayashi R., Kawagishi Y., Yamashita N., Sugiyama E., and Kobayashi M.: Inhibition of proteasome activity is involved in cobalt-induced apoptosis of human alveolar macrophages. *Am J Physiol (Lung Cell Mol Physiol)*, 283:L849-L858, 2002.
 - 6) Kawagishi Y., Mita H., Taniguchi M., Maruyama M., Oosaki R., Higashi N., Kashii T., Kobayashi M., and Akiyama K.: Leukotriene C4 synthase promoter polymorphism in Japanese patients with aspirin-induced asthma. *J Allergy Clin Immunol*, 109:936-942, 2002.
 - 7) Taniguchi H., Hoshino K., and Kobayashi M.: The decline of pulmonary function among patients with chronic asthma treated with inhaled corticosteroid. *Asthma*, 39:217-225, 2002.
 - 8) Harada S., Sugiyama E., Taki H., Shinoda K., Fujita T., Maruyama M., and Kobayashi M.: D-penicillamine cooperates with copper sulfate to enhance the surface expression of functional Fas antigen in rheumatoid synovial fibroblasts via the generation of hydrogen peroxide. *Clin Exp Rheumatol*, 20:469-476, 2002.
 - 9) Hori H., Sasaoka T., Ishihara H., Wada T., Murakami S., Ishiki M., and Kobayashi M.: Association of SH2-containing inositol phosphatase 2 with the insulin resistance of diabetic db/db mice. *Diabetes*, 51:2387-2394, 2002.
 - 10) Kuzuya T., Nakagawa S., Satoh J., Kanazawa Y., Iwamoto Y., Kobayashi M., Nanjo K., Sasaki A., Seino Y., Ito C., Shima K., Nonaka K., and Kadowaki T.: Report of the committee on the classification and diagnostic criteria of diabetes mellitus. *Diabet Res Clin Pract*, 55:65-85, 2002.
- ◆ 症例報告
- 1) 松井祥子, 山下直宏, 朴木久恵, 宮林弘太郎, 菓子井達彦, 多喜博文, 丸山宗治, 小林 正, 松井一裕, 武村民子: 過敏性肺臓炎との鑑別を要したサルコイドーシスの1例. *日本サルコイドーシス/肉芽腫性疾患学会誌*, 22:57-63, 2002.
 - 2) 岩田 実, 松井祥子, 丸山宗治, 谷口浩和, 小田寛文, 三輪敏郎, 荒井信貴, 菓子井達彦, 山下直宏, 小林 正: 臭化シスチグミンによりコリン作動性クリーゼを来たし急性呼吸不全を呈した1例. *日本胸部臨床*, 61:84-91, 2002.
 - 3) Taniguchi H., Taki H., Ishizawa S., Sawazaki S., Sugiyama E., and Kobayashi M.: Right recurrent laryngeal nerve palsy as a presenting manifestation in a patient with systemic lupus erythematosus complicating hemophagocytic syndrome. *APLAR J Rheumatol*, 4:184-186, 2001 (前年度追加分).
- ◆ 総 説
- 1) 小林 正: 尿糖, 尿ケトン体の自己測定とSMBG. *プラクティス*, 5:47-49, 2002.
 - 2) 小林 正: インスリン抵抗性改善薬 (アクトス). *Medicina*, 39:227-230, 2002.
 - 3) 小林 正, 岩田 実: 2型糖尿病発症におけるインスリン抵抗性の役割. *最新医学*, 57:53-59, 2002.
 - 4) 小林 正, 岩田 実, 平谷和幸: ピオグリタゾン. *新世代の糖尿病学(3) - 病院・診断・治療研究の進歩 -*, 60:429-437, 2002.
 - 5) 小林 正, 高野敦子: 成長ホルモンによるインスリン抵抗性. *新世代の糖尿病学(1) - 病院・診断・治療研究の進歩 -*, 60:265-272, 2002.
 - 6) 小林 正, 堀 宏之, 川原順子: インスリンシグナル伝達機構の分子メカニズムからみた経口製剤創薬の最新動向. *新世代の糖尿病学(3) - 病院・診断・治療研究の進歩 -*, 60:548-554, 2002.
 - 7) 小林 正, 堀 宏之, 川原順子, 笹岡利安: インスリン抵抗性の機構. *最新医学*, 3:229-238, 2002.
 - 8) 大角誠治, 小林 正: 糖尿病の病態をどう把握し, どう対処するか - 病態に応じた治療計画の立てかた -. *Medical Practice*, 15:55-59, 2002.
 - 9) 浦風雅春, 小林 正: インスリン製剤の現状と今後の展望. *日本病院薬剤師会雑誌*, 38:17-21, 2002.
 - 10) 多喜博文, 杉山英二: 非ステロイド性抗炎症剤 ~COX-2 阻害薬を含む~. *医薬ジャーナル*, 38

(S-1):150-156, 2002.

- 11) 山崎勝也, 小林 正: 糖尿病治療ネットワークの現状と将来への展望. プラクティス, 19:47-52, 2002.
- 12) 山崎勝也, 小林 正: 糖尿病患者データ集積用ソフト“CoDiC”を用いた多施設のデータ解析. プラクティス, 19:517-521, 2002.
- 13) 石木 学, 小林 正: Rabson-Mendenhall症候群. 日本臨床, 60:804-808, 2002.
- 14) 岩田 実, 小林 正: Klinefelter症候群における糖尿病について. 内分泌, 糖尿病科, 15:542-547, 2002.
- 15) 岩田 実, 小林 正: 血液検査-抗インスリン受容体抗体-. 日本臨床, 60 (増刊号8): 401-404, 2002.
- 16) 五十嵐保史, 山崎勝也, 小林 正: 【新時代の糖尿病患者教育】糖尿病患者教育と診療連携-今後の展望-. Pharma Medica, 20:13-18, 2002.
- 17) 山崎勝也, 小林 正: 糖尿病の治療(血糖管理). 腎と透析, 臨時増刊号: 31-35, 2001 (前年度追加分).
- 18) Kobayashi M.: Diabetes mellitus and lifestyle. Internal Medicine, 41:63-64, 2002.

◆ 学会報告

- 1) 市川智巳, 五十嵐保史, 菓子井達彦, 安達康子, 鳴河宗聡, 小田寛文, 藤田 聡, 三輪敏郎, 林 龍二, 松井祥子, 丸山宗治, 小林 正, 野村邦紀, 瀬戸 光, 土岐善紀, 原 祐郁, 三崎拓郎, 平谷和幸: 出血性肺梗塞を合併した縦隔奇形腫の1例. 第45回日本肺癌学会北陸部会, 2002, 1, 金沢.
- 2) 山本由紀, 林 龍二, 菓子井達彦, 安達康子, 鳴河宗聡, 小田寛文, 藤田 聡, 三輪敏郎, 松井祥子, 丸山宗治, 小林 正, 野村邦紀, 瀬戸 光: 血尿を契機に発見された両側腎転移合併小細胞肺癌の1例. 第45回日本肺癌学会北陸部会, 2002, 1, 金沢.
- 3) 河岸由紀男, 丸山宗治, 荒井信貴, 谷口浩和, 宮林弘太郎, 水落利栄子, 大崎緑男, 三輪敏郎, 菓子井達彦, 小林 正: 神経型NO合成酵素(NOS1) 遺伝子多型と気道過敏性の相関についての検討. 第14回日本アレルギー学会春季臨床大会, 2002, 3, 千葉.
- 4) 山崎 夕, 松井祥子, 長谷川聡子, 石木 学, 河岸由紀男, 菓子井達彦, 丸山宗治, 小林 正: ハムスターアレルギーの1例. 第186回日本内科学会北陸地方会, 2002, 3, 福井.
- 5) 長谷川聡子, 林 龍二, 三輪敏郎, 藤田 聡,

- 小田寛文, 鳴河宗聡, 安達康子, 菓子井達彦, 松井祥子, 丸山宗治, 小林 正: 慢性関節リウマチでメソトレキセート投与中にカリニ肺炎を合併した1例. 第186回日本内科学会北陸地方会, 2002, 3, 福井.
- 6) 高橋三千代, 石木 学, 五十嵐保史, 岩田 実, 山崎勝也, 佐藤 啓, 浦風雅春, 小林 正, 笹岡利安: ICISA抗体陽性を呈したミトコンドリア糖尿病が疑われた1例. 第65回日本糖尿病学会中部地方会, 2002, 3, 金沢.
- 7) 菓子井達彦, 小田寛文, 三輪敏郎, 松井祥子, 丸山宗治, 小林 正, 野村邦紀, 瀬戸 光: 原発性肺癌の治療効果判定におけるFDG-PETの有用性. 第42回日本呼吸器学会総会, 2002, 4, 仙台.
- 8) 松井祥子, 丸山宗治, 小田寛文, 三輪敏郎, 藤田 聡, 林 龍二, 菓子井達彦, 山下直宏: 原発性シェーグレン症候群に伴った肺病変14例の臨床的検討. 第42回日本呼吸器学会総会, 2002, 4, 仙台.
- 9) 小田寛文, 朴木久恵, 水落利栄子, 三輪敏郎, 藤田 聡, 林 龍二, 松井祥子, 菓子井達彦, 丸山宗治, 小林 正, 原 祐郁: びまん性肺胞出血を繰り返した抗リン脂質抗体症候群の1例. 第42回日本呼吸器学会総会, 2002, 4, 仙台.
- 10) 荒屋 潤, 丸山宗治, 藤田 聡, 佐々和彦, 林 龍二, 河岸由紀男, 松井祥子, 菓子井達彦, 小林 正: コバルトによる細胞障害の機序の検討. 第42回日本呼吸器学会総会, 2002, 4, 仙台.
- 11) 篠田晃一郎, 杉山英二, 多喜博文, 原田修次, 小林 正: ヒト破骨細胞誘導系に対するシクロスポリンAの効果. 第46回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2002, 4, 神戸.
- 12) 原田修次, 杉山英二, 多喜博文, 澤崎茂樹, 篠田晃一郎, 金粕浩一, 加藤弘巳, 小林 正: 慢性関節リウマチ滑膜細胞の15-lipoxygenase発現に対するIL-4の誘導作用. 第46回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2002, 4, 神戸.
- 13) 笹岡利安, 堀 宏之, 福居和人, 和田 努, 石木 学, 石原 元, 小林 正: リピッドホスファターゼSHIP2によるインスリンシグナルの制御. 第45回日本糖尿病学会年次学術集会, 2002, 5, 東京.
- 14) 山崎勝也, 小林 正, 高木廣文, 糖尿病データマネジメント研究会: CoDiCを使用した糖尿病臨床データの解析-多施設でのデータ解析-(第2報). 第45回日本糖尿病学会年次学術集会, 2002, 5, 東京.

- 15) 山崎勝也, 鷹田美智代, 小林 正: コンピュータシステムを用いた病診連携. 第45回日本糖尿病学会年次学術集会, 2002, 5, 東京.
- 16) 岩田 実, 川原順子, 平谷和幸, 笹岡利安, 小林 正: Pioglitazoneの作用機序に関する検討. 第45回日本糖尿病学会年次学術集会, 2002, 5, 東京.
- 17) 岸田みか, 浦風雅春, 鷹田美智代, 石倉裕子, 手丸理恵, 山本典子, 五十嵐保史, 佐藤 啓, 山崎勝也, 小林 正: メサングウム細胞におけるPGE1, PGI2のPAI-1産生抑制作用—グルコサミン, TNF- α での検討—. 第45回日本糖尿病学会年次学術集会, 2002, 5, 東京.
- 18) 川原順子, 春田哲郎, 平谷和幸, 薄井 勲, 高野敦子, 宇野立人, 岩田 実, 堀 宏之, 村上史峰, 石木 学, 笹岡利安, 小林 正: 3T3-L1脂肪細胞におけるインスリン長期刺激によるインスリン抵抗性に及ぼすmTOR感受性経路の役割. 第45回日本糖尿病学会年次学術集会, 2002, 5, 東京.
- 19) 堀 宏之, 笹岡利安, 石原 元, 和田 努, 石木 学, 村上史峰, 福居和人, 岩田 実, 川原順子, 平谷和幸, 小林 正: インスリン抵抗性病態(db/dbマウス)でのSHIP2の意義の解析. 第45回日本糖尿病学会年次学術集会, 2002, 5, 東京.
- 20) 福居和人, 笹岡利安, 村上史峰, 堀 宏之, 石原 元, 石木 学, 小林 正: 3T3-L1脂肪細胞において, グルコース濃度とインスリン長期刺激がSHIP2の発現とインスリンシグナルに及ぼす影響. 第45回日本糖尿病学会年次学術集会, 2002, 5, 東京.
- 21) 杉政美雪, 鍋山昭子, 福田恵子, 山崎勝也, 五十嵐保史, 石木 学, 岩田 実, 佐藤 啓, 笹岡利安, 浦風雅春, 小林 正: 糖尿病入院情報管理システムPathDiCの運用. 第45回日本糖尿病学会年次学術集会, 2002, 5, 東京.
- 22) 河岸由紀男, 丸山宗治, 宮林弘太郎, 林 龍二, 藤田 聡, 荒屋 潤, 菓子井達彦, 松井祥子, 小林 正, 佐々和彦: β 2アドレナリン受容体遺伝子多型の臨床的意義. 第49回日本呼吸器学会・合同北陸地方会, 2002, 5, 金沢.
- 23) 高橋三千代, 藤田 聡, 荒屋 潤, 河岸由紀男, 小田寛文, 三輪敏郎, 林 龍二, 松井祥子, 菓子井達彦, 丸山宗治, 小林 正, 佐々和彦: 右肺動脈欠損症の1例. 第49回日本呼吸器学会・合同北陸地方会, 2002, 5, 金沢.
- 24) 藤坂志帆, 河岸由紀男, 小田寛文, 三輪敏郎, 藤田 聡, 林 龍二, 松井祥子, 菓子井達彦, 丸山宗治, 小林 正, 水落利栄子: 経口ステロイド治療により軽快したブロンコレアの1例. 第34回日本気管支学会・合同北陸地方会, 2002, 5, 金沢.
- 25) 菓子井達彦, 山田 徹, 宮林弘太郎, 鳴河宗聡, 河岸由紀男, 小田寛文, 三輪敏郎, 藤田 聡, 松井祥子, 丸山宗治, 小林 正: 当科における非小細胞肺癌に対するsecond line chemotherapyの現状. 第46回日本肺癌学会北陸部会, 2002, 6, 金沢.
- 26) 河岸由紀男, 猪又峰彦, 朴木久恵, 山田 徹, 宮林弘太郎, 鳴河宗聡, 小田寛文, 三輪敏郎, 藤田 聡, 松井祥子, 菓子井達彦, 丸山宗治, 小林 正, 高嶋修太郎: SIADHとLambert-Eaton筋無力症候群を合併した肺小細胞癌の1例. 第46回日本肺癌学会北陸部会, 2002, 6, 金沢.
- 27) 笹岡利安, 佐藤 啓, 和田 努, 堀 宏之, 村上史峰, 石木 学, 小林 正: 血管平滑筋細胞においてリピッドホスファターゼSHIP2がPDGFシグナルに及ぼす影響の解析. 第75回日本内分泌学会学術総会, 2002, 6, 大阪.
- 28) 岩田 実, 川原順子, 平谷和幸, 笹岡利安, 小林 正: Pioglitazoneの作用機序に関する検討. 第75回日本内分泌学会学術総会, 2002, 6, 大阪.
- 29) 藤坂志帆, 五十嵐保史, 多喜博文, 佐々和彦, 澤崎茂樹, 杉山英二, 小林 正: 88歳で発症した男性SLEの1例. 第187回日本内科学会北陸地方会, 2002, 6, 金沢.
- 30) 山口昌樹, 神戸成典, 福士夕紀子, 本田宣昭, 筒井宏明, 総田長生, 山崎勝也, 小林 正: データマイニングによる糖尿病患者のための生活習慣管理・改善支援システム. 第2回日本生活支援工学会大会, 2002, 6, 所沢.
- 31) 篠田晃一郎, 杉山英二, 多喜博文, 原田修次, 小林 正: シクロスポリンAの破骨細胞分化に対する影響の検討. 第20回日本骨代謝学会総会, 2002, 7, 岡山.
- 32) 岩田美千代, 松井祥子, 松村理恵子, 澤田愛子, 小林 正: 富山広域医療圏における在宅酸素療法の医療連携の現状. 第12回日本呼吸管理学会学術集会, 2002, 7, 東京.
- 33) 澤崎茂樹, 蓮本祐史, 藤田 聡, 多喜博文, 蓑毅峰, 杉山英二, 小林 正: 肺胞出血を初発とし, CRPが持続低値を示したSLEの1例. 第14回中部リウマチ学会, 2002, 9, 山梨.
- 34) 多喜博文, 松井千尋, 蓑毅峰, 篠田晃一郎, 杉山英二, 小林 正: D-penicillamine治療経過中にdesmoglein-1抗体陽性落葉状天疱瘡を発症

- した慢性関節リウマチ合併強皮症の1例. 第14回中部リウマチ学会, 2002, 9, 山梨.
- 35) 松井祥子, 山本由紀, 多喜博文, 五十嵐保史, 澤崎茂樹, 杉山英二, 小林 正: 22年の経過中に多彩な臨床症状を呈した全身性エリテマトーデスの1例. 第14回中部リウマチ学会, 2002, 9, 山梨.
- 36) 養 毅峰, 山本由紀, 多喜博文, 澤崎茂樹, 篠田晃一郎, 杉山英二, 小林 正, 高川 清, 山崎夕, 赤川直次: 右被殻出血の治療中に発症したChurg-Strauss症候群の1例. 第14回中部リウマチ学会, 2002, 9, 山梨.
- 37) 山田 徹, 多喜博文, 杉山英二, 小林 正, 水落利栄子, 太田正之, 根上利宏: D-ペニシラミン投与中の関節リウマチに発症した皮膚筋炎の1例. 第14回中部リウマチ学会, 2002, 9, 山梨.
- 38) 高橋三千代, 多喜博文, 杉山英二, 澤崎茂樹, 松井千尋, 小林 正: 皮膚潰瘍にbFGFスプレーが効果的であった関節リウマチの2例. 第14回中部リウマチ学会, 2002, 9, 山梨.
- 39) 大崎博幸, 今西信悟, 林 龍二, 荒屋 潤, 多喜博文, 松井祥子, 杉山英二, 小林 正: 肺化膿症を契機に発見された全身性エリテマトーデスの1例. 第14回中部リウマチ学会, 2002, 9, 山梨.
- 40) 藤坂志帆, 山崎 夕, 五十嵐保史, 澤崎茂樹, 多喜博文, 浅井正嗣, 菓子井達彦, 三輪敏郎, 松井祥子, 笹原正清, 清水正司, 瀬戸 光, 杉山英二, 小林 正: FDG-PETが病勢の観察に有用であったWegener肉芽腫症の1例. 第14回中部リウマチ学会, 2002, 9, 山梨.
- 41) 山本由紀, 岩田 実, 藤田 聡, 林 龍二, 五十嵐保史, 佐藤 啓, 笹岡利安, 丸山宗治, 小林正, 松井一裕: 気管支カルチノイドによる異所性ACTH産生Cushing症候群の1例. 第188回日本内科学会北陸地方会, 2002, 9, 富山.
- 42) 坂本純子, 奥田忠行, 北島 勲, 山崎勝也: 慢性肝疾患に併発した糖尿病におけるグリコホメグロビン測定の問題点と現状. 第27回北陸臨床病理集談会, 2002, 9, 富山.
- 43) 岸田みか, 岩田 実, 佐藤 啓, 宇野立人, 川原順子, 山崎勝也, 笹岡利安, 浦風雅春, 小林正: 1型糖尿病に合併した無痛性甲状腺炎の1例. 第66回日本糖尿病学会北陸地方会, 2002, 10, 金沢.
- 44) 香川正太, 笹岡利安, 矢口沙織, 木村郁子, 村上史峰, 福居和人, 山崎勝也, 佐藤 啓, 浦風雅春, 石原 元, 小林 正: 日本人2型糖尿病におけるPTEN遺伝子多型の解析. 第66回日本糖尿病学会中部地方会, 2002, 10, 金沢.
- 45) 菓子井達彦, 山田 徹, 鳴河宗聡, 宮林弘太郎, 河岸由紀男, 小田寛文, 三輪敏郎, 藤田 聡, 藤下 隆, 松井祥子, 丸山宗治, 小林 正: 当科における再発非小細胞肺癌に対するゲフィチニブ(イレッサ®)の投与経験. 第50回日本呼吸器学会北陸地方会, 2002, 11, 福井.
- 46) 藤下 隆, 菓子井達彦, 小林 正: ヒト非小細胞肺癌細胞株におけるfarnesyltransferase inhibitor (BMS-214662)の抗腫瘍効果. 第50回日本呼吸器学会北陸地方会, 2002, 11, 福井.
- 47) 猪又峰彦, 河岸由紀男, 松井祥子, 岩田 実, 山田 徹, 鳴河宗聡, 宮林弘太郎, 小田寛文, 三輪敏郎, 藤田 聡, 菓子井達彦, 丸山宗治, 小林正: 臭化ジスチグミンによりコリン作動性クリーゼを来した急性呼吸不全を呈した2例. 第50回日本呼吸器学会北陸地方会, 2002, 11, 福井.
- 48) 三輪敏郎, 鈴木健介, 山田 徹, 宮林弘太郎, 鳴河宗聡, 河岸由紀男, 小田寛文, 藤田 聡, 松井祥子, 菓子井達彦, 丸山宗治, 小林 正, 豊嶋心一郎, 清水正司, 野村邦紀, 瀬戸 光, 土岐善紀, 三崎拓郎, 薄田勝男, 松成一朗: 原発性肺癌治療効果判定におけるFDG-PETの有用性の検討. 第43回日本肺癌学会総会, 2002, 11, 福岡.
- 49) 小田寛文, 鈴木健介, 河岸由紀男, 三輪敏郎, 藤田 聡, 佐々和彦, 菓子井達彦, 小林 正: ヒト肺癌細胞株におけるEGFレセプター特異的チロシンキナーゼ阻害剤ZD1839の効果. 第43回日本肺癌学会総会, 2002, 11, 福岡.
- 50) 河岸由紀男, 丸山宗治, 宮林弘太郎, 林 龍二, 松井祥子, 菓子井達彦, 小林 正: 日本人における β 2アドレナリン受容体遺伝子多型の臨床的意義. 第52回日本アレルギー学会総会, 2002, 11, 横浜.
- 51) 福居和人, 笹岡利安, 石原 元, 和田 努, 村上史峰, 岩田 実, 川原順子, 平谷和幸, 小林正: 内因性のSHIP2の阻害が長期インスリン刺激によるインスリン抵抗性に及ぼす影響の検討. 第14回分子糖尿病学シンポジウム, 2002, 12, 大阪.
- 52) 山口昌樹, 川島裕司, 高井規安, 山崎勝也, 小林 正: 口腔液を用いた非侵襲的な血糖測定手法. 第47回日本唾液腺学会, 2002, 12, 東京.
- 53) 牧野輝彦, 多喜博文: Churg-Strauss syndromeの1例. 第389回日本皮膚科学会北陸地方会, 2001, 6, 金沢(前年度追加分).
- 54) Sasaoka T., Ishihara H., Wada T., Hori H., Ishiki M., and Kobayashi M.: Membrane

- localization of SHIP2 via Shc association is required for negative regulation of insulin signaling. *Keystone Symposia*, 2002, 1, Keystone.
- 55) Kashii T., Oda H., Miwa T., Fujita T., Hayashi R., Matsui S., Kobayashi M., Nomura K., Seto H., Matsunari I., and Hisada K.: Utility of FDG-PET for evaluation of chemotherapeutic response in primary lung cancer. 38th Annual Meeting of American Society of Clinical Oncology, 2002, 5, Orlando.
- 56) Matsui S., Sugiyama E., Taki H., Yamashita Y., Hayashi R., Fujita T., Oda H., Miwa T., Kashii T., Maruyama M., and Kobayashi M.: Pulmonary involvement in patients with primary Sjögren's syndrome. 98th International Conference of American Thoracic Society, 2002, 5, Atlanta.
- 57) Kashii T.: Recent advances on target therapy for lung cancer in Japan. 14th Annual Symposium of the Korea University Cancer Institute, 2002, 8, Seoul.
- 58) Sasaoka T., Kikuchi K., Ishihara H., Ishiki M., Wada T., Hori H., Sato A., and Kobayashi M.: Dual mechanisms of SHIP2 involvement in the regulation of IGF-1 signaling in rat aortic smooth muscle cells. 62nd Scientific Sessions of the American Diabetes Association, 2002, 6, San Francisco.
- 59) Kawahara J., Haruta T., Hiratani K., Usui I., Takano A., Sasaoka T., and Kobayashi M.: Mammalian target of rapamycin pathway regulates insulin resistance induced by chronic insulin exposure of 3T3L1 adipocytes. 62nd Scientific Sessions of the American Diabetes Association, 2002, 6, San Francisco.
- 60) Wada T., Sasaoka T., Ishihara H., Hori H., Murakami S., Fukui K., and Kobayashi M.: Molecular mechanisms by which lipid phosphatase SHIP2 specifically regulates insulin signaling in cultured cells. The Fourth Insulin Action Symposium, 2002, 9, Matsuyama.
- 61) Kashii T., Oda H., Miwa T., Kawagishi Y., Fujita T., Hayashi R., Matsui S., Maruyama M., Kobayashi M., Nomura K., Seto H., Matsunari I., and Hisada K.: Usefulness of FDG-PET for evaluation of chemotherapeutic response in primary lung cancer. 7th Congress of the Asian Pacific Society of Respiratology, 2002, 10, Taipei.
- 62) Miwa T., Maruyama M., Matsui S., Oda H., Kashii T., Kobayashi M., Izumi S., Takazakura E., Minami M., and Matuda H.: A case of multiple emphysematous bullae treated with living-donor lung transplantation from identical twin brothers. 7th Congress of the Asian Pacific Society of Respiratology, 2002, 10, Taipei.
- ◆ その他
- 1) 小林 正: 糖尿病と血管障害. *The Experiment & Therapy*, 668:2-5, 2002.
- 2) 笹岡利安, 佐藤 啓, 小林 正: 血管平滑筋細胞においてグルコサミンが血小板由来増殖因子の作用を増強する分子機構. *臨床薬理の進歩*, 23:65-69, 2002.
- 3) 佐藤 啓, 小林 正: 虚血性心疾患と糖尿病との関係. *毎日ライフ*, 5:58-62, 2002.
- 4) 浦風雅春, 野畑裕子, 小林 正: 培養血管内皮細胞のIL-8産生に及ぼす α -トコフェロールの影響. 第8回中部脂質代謝研究会, 2002, 2, 名古屋.
- 5) 山崎勝也: 第45回日本糖尿病学会共同研究発表内容の報告. 第3回糖尿病データマネジメント研究会, 2002, 2, 東京.
- 6) 佐藤 啓: 経口剤について. 第8回富山県糖尿病患者教育医療スタッフ研修会, 2002, 3, 富山.
- 7) 岸田みか, 浦風雅春, 小林 正: 培養ヒトメサンギウム細胞のPAI-1産生に及ぼすPGE1の影響. 第3回糖尿病とVascular Biology研究会, 2002, 3, 東京.
- 8) 高橋暢人, 鳴河宗聡, 林 龍二, 安達康子, 小田寛文, 藤田 聡, 三輪敏郎, 松井祥子, 菓子井達彦, 丸山宗治, 小林 正: 人工呼吸管理を必要とした破傷風の1例. 第13回富山難治性感染症研究会, 2002, 3, 富山.
- 9) 菓子井達彦: 当科における肺癌化学療法の実際—現在進行中の臨床試験のプロトコールを含め—. 富山肺癌化学療法セミナー, 2002, 4, 富山.
- 10) 小田寛文: 肺癌に対する分子標的療法の基礎と臨床. 富山肺癌化学療法セミナー, 2002, 4, 富山.
- 11) 笹岡利安, 福居和人, 石原 元, 石木 学, 和田 努, 堀 宏之, 川原順子, 小林 正: リピッドホスファターゼSHIP2のインスリン抵抗性病態における意義の解明. 第6回シンポジウム糖尿病, 2002, 4, 東京.
- 12) 朴木久恵, 河岸由紀男, 小田寛文, 三輪敏郎,

- 藤田 聡, 松井祥子, 菓子井達彦, 丸山宗治, 小林 正: SIADHとLambert-Eaton筋無力症候群を合併した肺小細胞癌の1例. 第25回富山肺癌研究会, 2002, 4, 富山.
- 13) 三輪敏郎, 山田 徹, 宮林弘太郎, 鳴河宗聡, 河岸由紀男, 小田寛文, 藤田 聡, 松井祥子, 菓子井達彦, 丸山宗治, 小林 正, 清水正司, 野村邦紀, 瀬戸 光, 土岐善紀, 三崎拓郎, 薄田勝男, 松成一朗, 久田欣一: 肺癌の診断・治療効果判定におけるFDG-PETの有用性. 第14回富山癌治療懇話会学術講演会, 2002, 5, 富山.
- 14) 石塚 健, 岩田 実, 長谷川聡子, 佐藤 啓, 小田寛文, 石木 学, 岸田みか, 川原順子, 小橋親晃, 笹岡利安, 山崎勝也, 浦風雅春, 小林 正: MRSA腸炎による著明な脱水のため, 心肺停止状態で来院したが, 救命し得た糖尿病性ケトアシドーシスの1例. 第3回富山県糖尿病と感染症研究会, 2002, 5, 富山.
- 15) 杉山英二: 抗リウマチ剤とアポトーシス. 第33回富山リウマチと免疫研究会, 2002, 6, 富山.
- 16) 多喜博文, 杉山英二, 小林 正: 血清IL-5濃度が病勢の推移を反映したMPO-ANCA陰性Churg-Strauss症候群の2例. 第23回富山免疫アレルギー研究会, 2002, 6, 富山.
- 17) 藤坂志帆, 山崎 夕, 五十嵐保史, 澤崎茂樹, 多喜博文, 菓子井達彦, 三輪敏郎, 浅井正嗣, 笹原正清, 清水正司, 瀬戸 光, 杉山英二, 小林 正: FDG-PETが経過観察に有用であったWegener肉芽腫症の1例. 第37回北陸免疫・症例検討/研究会, 2002, 6, 金沢.
- 18) 朴木久恵, 村上 純, 矢田 豊, 折原正周, 江幡和美, 加藤 勤, 多喜博文, 浦風雅春, 渡辺明治: 高トリグリセライド血症, 自己抗体陽性, 低補体価を認めた赤芽球癆の1例. 第37回北陸免疫・症例検討/研究会, 2002, 6, 金沢.
- 19) 丸山宗治: 禁煙の健康への影響(総論). 「肺の日」市民公開講座, 2002, 8, 富山.
- 20) 菓子井達彦: 喫煙と肺癌. 「肺の日」市民公開講座, 2002, 8, 富山.
- 21) 松井祥子: 禁煙指導. 「肺の日」市民公開講座, 2002, 8, 富山.
- 22) 山崎勝也: 糖尿病電子カルテCoDiCを用いた多施設間のEBMへの試み. 第2回糖尿病教育資源共有機構年次学術集会, 2002, 8, 大宮.
- 23) 杉山英二, 養 毅峰, 篠田晃一郎, 澤崎茂樹, 多喜博文, 小林 正, 小沢哲夫: 最近経験した興味ある関節炎の2例. 第17回富山県リウマチ性疾患研究会, 2002, 9, 富山.
- 24) 菓子井達彦: 米国におけるがん治療の実際—米国臨床腫瘍学研修を終えて—. 第4回富山医科薬科大学オンコロジー・セミナー, 2002, 9, 富山.
- 25) 小田寛文: 肺癌化学療法の現状—分子標的療法の臨床効果を含め—. 第4回富山医科薬科大学オンコロジー・セミナー, 2002, 9, 富山.
- 26) 三輪敏郎, 小田寛文, 藤田 聡, 河岸由紀男, 山田 徹, 宮林弘太郎, 鳴河宗聡, 松井祥子, 菓子井達彦, 丸山宗治, 小林 正: 再発非小細胞肺癌におけるタキソテル注を含む化学療法の検討. 第2回富山肺癌化学療法フォーラム, 2002, 9, 富山.
- 27) 佐藤 啓: シンポジウム糖尿病による血管合併症—最近の話題—糖尿病の大血管合併症におけるガイドライン. 第12回北陸MMC研究会, 2002, 10, 金沢.
- 28) 山本由紀, 岩田 実, 藤田 聡, 林 龍二, 五十嵐保史, 山崎秀憲, 佐藤 啓, 山崎勝也, 菓子井達彦, 松井祥子, 浦風雅春, 丸山宗治, 笹岡利安, 小林 正, 松井一裕: 気管支カルチノイドによる異所性ACTH産生クッシング症候群の1例. 第28回富山内分泌代謝セミナー, 2002, 10, 富山.
- 29) 小田寛文: 当科における肺癌化学療法の現状—分子標的療法を含め—. 第4回富山肺癌化学療法セミナー, 2002, 11, 富山.
- 30) 篠田千恵, 山田 徹, 宮林弘太郎, 鳴河宗聡, 河岸由紀男, 小田寛文, 三輪敏郎, 藤田 聡, 藤下 隆, 菓子井達彦, 松井祥子, 丸山宗治, 小林 正: 「肺の日」記念公開セミナーでの参加者アンケート; 喫煙とその有害性に関する意識調査. 第5回富山COPD学術講演会, 2002, 11, 富山.
- 31) 山田 徹, 宮林弘太郎, 鳴河宗聡, 河岸由紀男, 小田寛文, 三輪敏郎, 藤田 聡, 藤下 隆, 菓子井達彦, 松井祥子, 丸山宗治, 小林 正: 当科における肺化膿症の臨床的検討. 第1回富山県呼吸器感染症研究会, 2002, 11, 富山.
- 32) 佐藤 啓: 糖尿病と動脈硬化性疾患. 西砺波郡市医師会学術講演会, 2002, 12, 小矢部.
- 33) 岸田みか, 岩田 実, 佐藤 啓, 宇野立人, 川原順子, 山崎勝也, 笹岡利安, 浦風雅春, 小林 正: 1型糖尿病に合併した無痛性甲状腺炎の1例. 第65回北陸糖尿病集談会, 2002, 12, 金沢.